

令和8年4月17日

保護者会資料

荒川区立第一中学校長
小柴 憲一

1 今年度の経営の重点

4月13日(月)発行の「一中だより」もしくは、本校ホームページの学校経営方針をご覧ください。

2 保護者負担軽減事業に関する留意点

基本的な考え:学校が購入して全員の子どもたちに配布するものが公費補助

個人によって支出費用が異なるものが私費負担

「給食費」「教材費等」「移動教室費」「卒業アルバム」「修学旅行費」が対象となります。

ただし、すべてが補助になるわけではありません。

○標準服・鉛筆・消しゴム・水着・絵の具など、各ご家庭で準備していただいていたものは、これまで通り私費負担となります。

○中学校では校外学習や修学旅行などで班行動をすることが多々あります。その場合、班によって交通費・入場料などが異なるため、私費負担となります。また、お土産代も私費負担になります。

○卒業アルバムは公費補助の対象ですが、卒業式の時に証書授与場面の個別の写真は私費負担となります。

○ISC会費・卒業対策費などは私費負担となります。

○5月12日(火)に予定されている2年生と6組対象のオーケストラ鑑賞教室では、池袋の東京芸術劇場まで班行動を行います。この交通費は保護者負担軽減事業とは別予算で支給対象となっておりますので、後日、振込手数料を差し引いた額を各口座に振り込みます。勤労留学についても、勤労場所までかかった交通費については、後日、振込手数料を差し引いた額を各口座に振り込みます。

3 都立産業技術高等専門学校の特別推薦制度

①2学期末の段階で、各校の2年生2名までが学校を通して教育委員会に応募書類を提出し

②同校の特別推薦候補者と認められれば、

③2年生から3年生にかけて実施される2回のスクーリングに参加し、

④さらに最終的に区内の2名が特別推薦受検者となり、

⑤同校を特別推薦枠として受検することができます。

⑥仮に、区内の2名に選ばれなくても、同校を推薦受検することはできます。

2学期末に応募する際の、成績の基準は数学、理科、技術・家庭の評定合計が12程度以上となっています(昨年度基準)。

毎年1学期末に、同校で説明会が開催されています。

4 英検を私費で受ける場合は個人申し込みをし、本会場で受検してください

昨年度まで3年生だけが公費補助の対象でしたが、それでも金額の数え間違い、受検する級の入力ミス、一次免除のチェック漏れなど、確認作業をする中でヒヤリハットすることが必ずあり、いつかは事故を起こすという危機感をもっていました。今年度より全学年が対象となるので、事故は必ず起きてしまうという考えのもと、私費負担で受検する場合は受検料を学校に持ってくるなどのことはせず、個人申し込みをして指定された本会場で受検をしていただくよう、ご協力をお願いいたします。

5 ISCの活動にご協力を

○任意団体ではありますが、保護者の皆様の子育てに役立つ催しや、子ども同士の交流や活動の場を設定していただいております。

○また、学校行事などは、ISCのご協力があってこそ成立しております。

○できましたら、会員になっていただき、「できるときに」「できる人が」「できることを」の理念に基づき無理のない範囲でご協力いただきたく存じます。